

(案)

資料2

「生涯活躍のまち」構想に関する手引き  
(第2版)

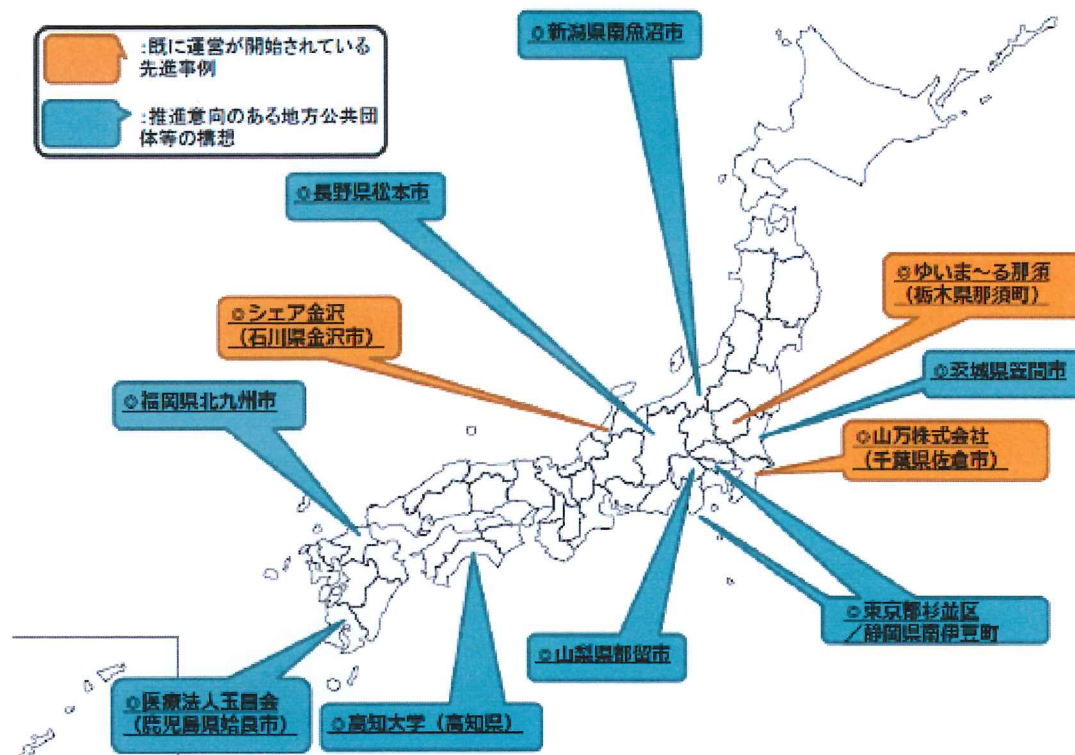
平成27年12月

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

### (参考)「生涯活躍のまち」構想を検討する際に参考とした事例

- 「生涯活躍のまち」構想の参考となる取組については、各地域で既に進められています。そのため、「生涯活躍のまち」構想を検討するに当たって参考とした取組事例等を掲載します。必ずしも各事例がそのまま「生涯活躍のまち」にあたるものではありませんが、地方自治体や事業主体が「生涯活躍のまち」構想に関する取組を検討するにあたって参考にいただければと思います。

#### 「生涯活躍のまち」構想を検討する際に参考とした事例（一覧）





## 参考とした構想・取組事例 医療法人玉昌会（鹿児島県始良市）

鹿児島県始良市において、病院の移転（建て替え）と併せた一体的な整備によるCCRC（「生涯活躍のまち」）の実現可能性を検討。地域包括ケアシステムを基盤とした「コンパクトシティ始良」の構築に協力する「JOYタウン構想」。

### ◎地域特性：まちなか型

### ◎事業主体（コミュニティの特徴）

#### ：医療法人

病院を基盤にしたまちづくり

### ◎地域的広がり：エリア型

新病院のほか、介護、予防、教育、住まい、交流スペースなどの機能を一体的に整備。一般の方や障害者の方が住めるよう整備も検討。

### ◎住み替えパターン：広域移住型

鹿児島県外に出た人のUターン、地域住民をメインターゲット

### ◎推進主体・住民

- ・医療法人玉昌会（2病院の運営と在宅サービス事業を実施）
- ・始良市は平成22年度に加治木町、始良町、蒲生町が合併。H27.6現在の人口約76,000人。
- ・始良市のコンパクトシティ化の一翼を担う構想。
- ・地域の中で、多職種・多世代、住民同士が互いに支えながら、住み慣れた地域でその人らしく暮らせる環境を支える仕組み。（ヒューマンライフラインの構築）
- ・鹿児島県外に出た人のUターン、地域住民をメインターゲット。
- ・災害時の対応（隣県からの避難者の可能性）も想定した計画、警察・消防以外でいざというときに24時間かけこんできてもらえる拠点としていきたいとの考え。

### ◎住まい・まちづくり

- ・厚生年金福祉施設サンピアあいらの跡地（約12,000坪）を利用し、病院を建て替える計画。
- ・新病院（3,000～4,000坪）のほか、介護、予防、教育、住まい、交流スペースなどの機能を一体的に整備し、一般の方や障害者の方が住めるような整備も検討。
- ・残っているホテルの活用も。
- ・鹿児島空港から車で15分、鹿児島市街地まで車で30分。

### ◎活動

- ・予防医療や介護以外のアクティビティを今後検討。
- ・誰でも利用できる図書館やカフェを通じた交流機会の創出など。

### ◎ケア

- ・医療エリアでは、慢性期を中心に、急性期から在宅ケアまで持続したケアを実現。
- ・医療介護支援・地域包括ケアサポートなど総合的な相談室の設置。

始良型モデル  
JOYタウン構想

